



文化博物館だより

第 572 号

2021 年 8 月 31 日

今回の博物館だよりは、開館30周年記念 夏季特別展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」の関連イベントと博物館実習の報告、次回企画展のご案内をお届けします。

開館 30 周年 記念夏季特別展「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」ミュージアムトークを開催しました。(8 月 8 日)



ミュージアムトークの様子

開館30周年記念 夏季特別展 「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」の関連イベントとして、担当学芸員によるミュージアムトークを開催しました。展示の見どころの紹介から、ブルーナさん自身の生い立ちや彼独自の制作方法の紹介、さらに本展のテーマであるミュージアムの楽しみ方について、豊富な図版を用いながら密度の濃い内容となり、参加者皆熱心に耳を傾けておられました。なお本展は、8月29日で44日間の会期を無事終了することができました。ご観覧いただいた皆さまありがとうございました。



キャプション制作の様子

令和 3 年度博物館実習を実施しました。(8 月 17 日～22 日)

当館では、博物館学芸員資格取得を目指す学生を対象に博物館実習を行っており、今年度も実習を実施しました。

今年はあいにく悪天候による警報が相次ぎ、予定の実習日数より短縮となってしまいましたが、実際の現場で展示や調査・研究についての専門的な体験をしていただき、短期間でも凝縮された内容となりました。現在、今年度の実習生による展示を体験学習室にてご覧いただけます。

企画展「明石藩の世界Ⅸ－幕末維新と人々のくらし－」を開催します！(9 月 11 日～10 月 17 日)

本展では、明石海峡の海防にまつわる武家文書、長州戦争の頃の明石藩の村々の古文書、廃藩置県後に東京移住した松平家に仕えた旧藩士の記録、明石町の古写真などを展示し、歴史の表舞台に立たなかった人々の視点から、江戸から明治へと変わる時代の諸相を紹介します。

《関連イベント》

※①～⑤は事前申込みが必要です。

往復はがきに「イベント名、参加者全員の氏名、代表者の郵便番号・住所・電話番号、参加人数(1 組 5 名まで)」を明記し、当館まで(1 通につき 1 つのイベントのみ有効、応募多数の場合は抽選)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

①特別講演会「幕末の大坂湾防備と明石藩」

要申込み(9 月 7 日(火)必着、定員：40 名)

日 時：9 月 19 日(日) 13:30～15:00

講 師：高久 智広氏(関西大学文学部准教授)

場 所：当館 2 階大会議室

④はじめての古文書講座

要申込み(9 月 24 日(金)必着、定員：40 名)

日 時：10 月 9 日(土) 13:30～15:00

講 師：加納 亜由子

場 所：当館 2 階大会議室

②講演会「東京高輪の旧藩主松平家と明石士族」

要申込み(9 月 7 日(火)必着、定員：40 名)

日 時：9 月 18 日(土) 13:30～15:00

講 師：加納 亜由子(明石市市史編さん担当)

場 所：当館 2 階大会議室

⑤【連携事業】シンポジウム「明石城を探る」

要申込み(9 月 9 日(木)必着、定員：35 名)

主 催：明石葵会

日 時：9 月 23 日(木・祝) 13:30～16:00

講 師：岡 泰正氏

(神戸市立小磯記念美術館 神戸ゆかりの美術館 館長)

「明石藩松平家 奥方たちの副葬品を点検するー美術工芸の視点から」

宮本 博氏(神戸史学会会員)

「明石藩士と城下の寺院」

対 談：岡 泰正氏、宮本 博氏

場 所：当館 2 階大会議室

③講演会「幕末期の戦乱による明石藩領村々の役負担」

要申込み(10 月 6 日(水)必着、定員：40 名)

日 時：10 月 17 日(日) 13:30～15:00

講 師：加藤 明恵氏(神戸大学大学院人文学研究科特命助教)

場 所：当館 2 階大会議室

企画展「明石藩の世界Ⅸ－幕末維新と人々のくらし－」

会期：2021 年 9 月 11 日(土)～10 月 17 日(日)

月曜休館(但し 9 月 20 日(月)は開館)

開館時間：9 時 30 分～18 時 30 分(入館は 18 時まで)

観覧料：大人 200 円、大高生 150 円、中学生以下無料

詳しい展覧会情報は当館 H P をご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろい  たのしい 

来て、見て、発見！

ぶんぱくGO!!